

活動案：1年生活① 「学校のこと」①

## 1. 課題と目標

## 想定される課題

1年生の夏休みまでは、学校の生活に慣れることで精一杯です。外国人児童にとっては、日本語での生活は聞きなれないことも多く、正確に情報を受け取ることができていない児童が多いです。学校内のことも1年生の教室のみに終始しており、探検を通して学校内のことを知る良い機会となります。この単元では、友だちとのやり取りを通して、探検で使うあいさつも仕方を学びたいです

## 【本時の目標】

- ・学校の中の主な場所の名前を知る。
- ・学校探検の中で、先生方に話を聞く時のインタビューの仕方を理解する。

## 2. 指導のポイント・留意点

- ・学校の中で使う言葉は難しく、児童にとっては馴染みのない言葉が多くある。
- ・職員室＝副校長先生（教頭先生）とセットで考えると児童はイメージしやすい。

語彙　　しょくいんしつ、ほけんしつ、たいいくかん、としょしつ、きゅうしょくしつ、じむしつ

1階、2階、3階

表現　　「ここはどこですか。」⇒「ここは（職員室・保健室）です。」

学校探検に出る前に、入学から気になっている場所や人、物などを自由に発表させるようにしたいです。子どもたち一人ひとりの学校理解についても知る良い機会となります。次回の学校探検を実施する前に、丁寧なあいさつの仕方を練習しておくが良いです。

## 3. 展開（指導上の留意点：△日本語レベルがより高い児童への指導、▼日本語が弱い子どもへの指導

時間	展開	指導上の留意点	使用する教材等
7分	<p>1. 入学してから学校の中で、行きたいところについて発表する。</p> <p>T:「学校で探検したい場所はありますか？」</p> <p>C:「しょくいんしつ」、「6ねんせいのきょうしつ」等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が発表する場面では、児童がうまく表現ができなくても、意欲を高める活動にするために、最後まで話を聞く。</li> </ul>	各教室や施設の写真
7分	<p>2. 教室クイズを通して、それぞれの部屋の名前を知る。</p> <p>T:「この教室の名前はなんでしょう。」</p> <p>C: 「しょくいんしつ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当者が事前に撮影してきた教室の場所の一部分を見せ、どこの教室かを考える。</li> <li>写真と教室名をセットにして掲示をしておく。</li> </ul>	写真 教室名
6分	<p>3. 学校探検をするときの約束とあいさつの仕方を練習する。</p> <p>T「探検をするときに、気をつけることは何ですか。」</p> <p>C:「はしらない」、「けんかしない」「しゃべらない「あいさつをする」等</p> <p>T: 教室に入るときなんと言いますか。</p> <p>C:おはようございます。勉強で探検をしています。職員室を見せてください。</p>	<p><u>約束</u></p> <p>△学校探検をするときの約束について発表する。</p> <p>しずかにする／走らない／仲良く探検する等</p> <p><u>あいさつの仕方</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実際に校長先生などに来てもらいあいさつの練習をする。</li> </ul>	

活動案：1年生活② 「学校のこと」②

## 1. 課題と目標

## 想定される課題

今回の学習までに「学校のこと1（先行学習）」、在籍級での探検と教室名については繰り返し学習を行っています。そこで、ここでは自分が見つけたことや聞いたことや気づいたことを、適切な表現で発表できるようにしたいです。

## 【本時の目標】

- ・探検で気づいたことや見つけたことを、正しい表現で友だちに伝えることができる。

## 2. 指導のポイント・留意点

☆ 授業後の復習として実施してもよい。

- ・教室の場所と担当の教員をセットで覚えるとイメージしやすいので写真を用意すると良い。

## 表現

- ・なにをするばしょ（きょうしつ）ですか ⇒ ○○をするばしょです。
- ・○○先生は、△△（場所）にいます。
- ・なにがありましたか。○○がありました。

実際に使用する教室や場所は生活の中ですぐに覚えることができます。しかし、馴染みのない場所は覚えることができない児童が多いです。学校探検は在籍級と連携しながら学習を進めることで、学校のことを知る良い機会となります。

## 3. 展開(指導上の留意点:△日本語レベルがより高い児童への指導、▼日本語が弱い子どもへの指導)

時間	展開	指導上の留意点	使用する教材等
5分	1. 前回のふりかえりをする。各教室名を自由に言わせる。 T:「学校にはどんな教室がありましたか?」	・各教室や運動場の写真を見ながら、前時のふりかえりをする。 △前時で使った教室名(文字)で何教室か答える。	各教室、場所の写真 教室名カード
10分	2. 発表ごっこをする。 教室名を書いたカードを一人1枚ひく。 ひいたカードの場所について発表する。 発表の後で質問させる。 ・だれがいましたか。 ・なにがありましたか。	・自分がひいたカードについて自由に説明させる。発表を聞いて足りない情報について質問する。 ・質問に答えることで、どんな内容を話せばいいか気づかせる。 ▼質問にうまく答えられない児童は、同じ場所を見てきた児童に答えてもらってもよい。	
5分	3. 発表で話すと良いことを確認する。	・場所、いる人、何をする、何がある、について話せばよいことに気づかせ、確認する。	

活動案：1年生活③ 「〇〇探し」

関連する教科単元：国語「しらせたいな、みせたいな」他

## 1. 課題と目標

## 想定される課題

春探し、夏探し等の活動で自分が見つけたものを報告する時、発表したいという思いはあるのだが、わかりやすく報告できないことがある。文章を短くすることや報告する視点を定めることで、思いを表現できるようにしたい。

## 【本時の目標】

- ・何を探すのかを理解して、見つけることができる。
- ・見つけたものを、発表することができる。

## 2. 指導のポイント・留意点

☆ 授業後の復習として実施してもよい。

・見つけたものを報告する際、わかりやすく説明するためには、どこに何があったのか、どんな色でどれくらいあったのかを表現できるようにしたい。また、はじめに場所を話し次にその物の様子について順序立てて話せるように、表現を提示して話させたい。

表現：

「〇〇を見つけました。」、「〇〇（どこ）にありました。」、「〇〇色でした。」、「いくつありました。」

春探し等では、児童から「タンポポが公園にありました。」、「オタマジャクシが池にいました。」などの報告があります。わかりやすく報告することはこの先の学校の活動に必要な技能となります。今回の学習に限らず、様々な場面で継続して学習することをお勧めします。

## 3. 展開(指導上の留意点:△日本語レベルがより高い児童への指導、▼日本語が弱い子どもへの指導)

時間	展開	指導上の留意点	使用する教材等
5分	1. 教室内で宝探しをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・折り鶴を見つけやすい場所に3つ置いておく。</li> <li>・今日探すものは折り鶴であることを確認する。</li> <li>・どこに、いくつ、色 などの特徴をつかむことができるようにする。</li> </ul>	
5分	2. 宝探しの報告をする。  折り鶴を見つけた場所を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見つけた折り鶴を報告する。</li> <li>・わかりやすく発表することができない児童もいるので、折り鶴を置いた場所を写真で記録しておき、発表の時に掲示をしておく。</li> </ul> <p>△児童に自由に報告をさせる。</p>	
10分	3. 友だちに見つけたものをわかりやすく報告するための文を考える。  「〇〇を見つけました。」  「〇〇(どこ)にありました。」  「〇〇色でした。」  「いくつありました。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすく説明するためのポイントを伝える。</li> <li>どこに、いくつ、色 等を伝えることができるようにする。</li> </ul>	文型カード

活動案：1年生活④ 「観察する」

関連する教科単元：国語「おおきくなった」、生活「〇〇探し」

## 1. 課題と目標

## 想定される課題

植物の観察においては特徴や状態を示す語彙（適切な形容詞や擬態語等）が必要となるが、非日本語母語話者の児童はこれらの日本語語彙が少ないことが多く、観察記録を書くにあたっての困難が予想される。

## 【本時の目標】

- ・特徴や状態を表す語彙の確認

## 2. 指導のポイント・留意点

- ・本時の目的は形容詞を教えることではない。観察活動の中でg子どもたちの気づきを日本語にしていくことが重要である。
- ・植物の種や芽の観察を念頭に置いているため、以下の語彙を想定するが、これにこだわるものではない。実物を提示しながら指導すると効果的である。
- ・語彙：大きさ（おおきい、ちいさい）  
色（あか、きいろ、あお、みどり、しろ、くろ、ちゃいろ）  
形（まるい、ほそながい、さんかく）  
硬さ等（やわらかい、かたい、ふわふわ、ざらざら）

- ・外国人児童を指導していると、形容詞の獲得語彙数が名詞や動詞に比べて少ないケースをよく見かけます。私の学校では、語彙増強のために形容詞絵カードを用いて神経衰弱（対義語をペアとする）などのゲームを日頃から少しずつ行っています。
- ・現地の植物を教材に取り上げると学びが広がると思います。子どもにとって「先生よりよく知っている」ということは大変うれしく、学習意欲につながります。子どもが知っていることや体験を授業に活かしてください。
- ・「芽が出る」「花が咲く」「実ができる」などの言い方は、子どもたちにとってなじみのないものです。TPR（Total Physical Response）と呼ばれる手法で、植物の成長を動作化させながら日本語表現を学ぶと子どもたちも喜んで活動します。

## 3. 展開(指導上の留意点:△日本語レベルがより高い児童への指導、▼日本語が弱い子どもへの指導)

時間	展開	指導上の留意点	使用する教材等
5分	<p>1. 一人ずつ異なる観察対象物を受け取り、観察する。(ここでは種とする)</p> <p>ペアなどで自分の種について、気づいたことを話す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この段階では子どもたちの気づきを大切にしたいので、単語レベル(「ちっちゃい」「しましま)でもよしとする。</li> <li>・「わたしの〇〇」を説明するところがポイントとなる。</li> </ul>	観察するもの(ここでは種)
15分	<p>2. 気づいたことを全員に伝える。</p> <p>C1:わたしのたねは黒いです。</p> <p>T:C1さんのたねは黒いって。C2さんのたねの色は何ですか。</p> <p>C2:黒です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Tの問いかけで、「色」「形」など観察の視点となる語を提示する。そのとき、文字カードも一緒に提示するとよい。</li> <li>▼語彙が不十分な子どもの言いたいことを教師が汲み取り、言語化する。</li> </ul>	



活動案：1年生活⑤ 「自分の一日を見つめよう」

関連する教科単元：算数「なんじなんぷん」

## 1. 課題と目標

## 想定される課題

時間の言い方や日常生活の様々な動作の日本語表現が不足しているケースがあるのでかくにんしたい。また、家庭で現地語がつかわれていると、時刻の言い方も定着に時間がかかることが考えられる。

## 【本時の目標】

- ・時間の言い方、時計の読み方を理解する。
- ・一日の生活の流れを言うことができる。

## 2. 指導のポイント・留意点

- ・時刻を表す助数詞が変則的である点に注意（よじ、しちじ、くじ）。
- ・最終的に授業で発表することを念頭に、動詞は原形（起きる）ではなく、「ます形」（起きます）で指導する。
- ・語彙：時刻の助数詞（いちじ、にじ、さんじ…）

日常生活における動作を表す語彙（起きます、宿題をします、寝ます…）

- ・表現：「〇じに□をします。」

## 3. 使用可能な教材・ワークシート

- ・一日の生活の絵カードは下記サイト（特別支援教育・すぐに使える！プリント+ビデオクリップ）  
で無料ダウンロードが可能。

[http://sn1.e-kokoro.ne.jp/print/print\\_detail.php?kyozaino=P-106](http://sn1.e-kokoro.ne.jp/print/print_detail.php?kyozaino=P-106)

日常生活のいろいろな動作の表現をリピートさせるときは、ジェスチャーとともに発話させると良いと思います。

## 4. 展開(指導上の留意点:△日本語レベルがより高い児童への指導、▼日本語が弱い子どもへの指導)

時間	展開	指導上の留意点	使用する教材等
5分	1. 時刻の表現「〇じ(時)」を学ぶ。	▼数字カードを使って、数字の読み方を確認する。 △「〇時半」「〇時〇分」の表現を確認する。	時計模型
7分	2. 日常生活における動作の表現を学ぶ。 できればジェスチャーとともにいう。	・各絵カードに対応する文型カード(「おきます」「しゅくだいをします」等)を提示し、日常生活の様々な動作の表し方を確認する。 ▼「起きます」「寝ます」「食べます」等目的語を含まない語彙に限定して練習する。	一日の生活の絵カード
8分	3. カードゲームを通して「〇時に〇〇をします。」の表現を確認する。 動詞カードを裏返して積んで置き、児童が自分が引いたカードの行動を何時にするかを言う。	・助詞「に」の使い方を確認する。 ・まずは教師が見本を見せる。 C: (「起きます」を引く)「わたしは7じにおきます」 時間があれば、時計でその時刻を示させる。	時計模型 一日の生活の絵カード